TeraStation IS ※本書ではTeraStation ISをTeraStationと記載しています。

導入マニュアル - はじめにお読みください -

このたびは、本製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。本製品を正しく使用するために、はじめにこのマニュアルをお読みください。お読みになった後は、大切に保管してください。

梱包物の確認

不足しているものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
確認した項目には✓を付けてください。なお、製品の形状はイラストと異なる場合があります。

- □ TeraStation本体.................. 1台
- □ ACケーブル.............................. 1本
- □ ケーブル抜け防止バンド........ 1個
- □ LANケーブル........................... 1本
- □ ユーティリティーCD............. 1枚
- □ 3極-2極変換アダプター......... 1個
- □ 前面カバー開閉用鍵................. 2個
- ☑ TeraStation導入マニュアル(本紙)... 1枚
- □ ハードディスク交換手順.................... 1枚
- □ 保証書.. 1枚

※付属のACケーブルは3極です。ACコンセントが2極の場合にお使いください。3極-2極変換アダプターのアース線は電源プラグをつなぐ前に接続し、外すときは電源プラグを抜いてから外してください。また、アース線がコンセントや他の電極に接触しないよう確実にアース口に接続してください。

※前面カバー開閉用鍵は紛失しないよう大切に保管してください。

※保証書は本製品の修理をご依頼頂く場合に必要となりますので、大切に保管してください。保証書には、シリアルNoが記載されています。

※別紙で追加情報が同梱されているときは、必ず参照してください。

仕様

最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ(buffalo.jp)を参照してください。

インターフェース(LANポート)		インターフェース：IEEE802.3ab準拠(1000BASE-T)、IEEE802.3u準拠(100BASE-TX)、IEEE802.3準拠(10BASE-T) 伝送速度：1000 Mbps全二重(自動認識)、100 Mbps全二重/半二重(自動認識)、10 Mbps全二重/半二重(自動認識) ポート数：2ポート（AUTO-MDIX対応） コネクター形状：RJ-45型 8極 対応プロトコル：TCP/IP Jumbo Frameフレーム長：1,518/4,102/7,422/9,694 Bytes（ヘッダー14 Bytes+FCS 4 Bytes含む）
インターフェース(USBポート)		インターフェース：USB規格Revision 2.0 コネクター：USBコネクター (シリーズA)×2 対応USB機器：オムロン社製UPS、APC社製UPS ※UPS以外のUSB機器には対応しておりません。対応UPS製品名は当社またはUPSメーカホームページにて、UPSを購入前にあらかじめご確認ください。
インターフェース(UPSポート)		インターフェース：UPS専用ポート(D-SUB 9ピン(オス))×1 対応UPS：オムロン社製UPS、APC社製UPS ※対応UPS製品名は当社ホームページに記載しています。また、オムロン社ホームページの各製品ページにも記載があります。UPSを購入前にあらかじめご確認ください。
内蔵ハードディスク		ディスクの構成：出荷時にRAID5モード(ハードディスク4台)に設定済み ※TeraStationのハードディスクが故障した場合は、別売の当社製交換用ハードディスクOP-HDシリーズ(故障したハードディスクと同容量)に交換ください。詳しくは当社ホームページ(buffalo.jp)をご参照ください。
電源 / 消費電力		AC 100 V 50 / 60 Hz / 約 60 W(平均)
外形寸法 / 重量		W 170 × H 215 × D 230 mm（突起部を除く）/ 約 8 kg
動作環境		温度 5 ～ 35 ℃、湿度 20 ～ 80 % (結露なきこと)
対応機種	対応パソコン	DOS/V(OADG仕様)対応パソコン、NEC PC98-NXシリーズ、 ※LANインターフェースを搭載していること。 ※パソコンとはLAN接続になり、USB接続はできません。
	対応OS	Windows 8(*)/ 7(*)/ Vista(*)/XP/2000、 Windows XP Media Center Edition 2005/2004、 Windows Server2008/Server2003、Windows 2000 Server (*)64ビット/32ビットに対応しています。

各部の名称

前面カバーをあけ下から見た図

本体背面

1 電源スイッチ
電源ON：電源スイッチを押します。
電源OFF：電源スイッチを3秒間(ピッと音がなるまで)押し続けます。
電源ONのとき、電源スイッチは緑色に点灯します。

2 INFOランプ
現在の状態について伝えることがあるとき、橙色に点灯します。現在の状態については、液晶ディスプレイの表示をご確認ください。

3 ERRORランプ
エラーが発生したとき赤色に点灯します。エラーの内容については、液晶ディスプレイの表示をご確認ください。

4 LAN1ランプ
LAN1ポートがネットワークに接続されているときに、緑色に点灯します(LANポート1横のランプも同様に点灯します)。

5 LAN2ランプ
LAN2ポートがネットワークに接続されているときに、緑色に点灯します(LANポート2横のランプも同様に点灯します)。

6 液晶ディスプレイ
TeraStationの状態などを表示します。

7 ディスプレイ切替スイッチ
液晶ディスプレイの表示を切り替えます。
警告音が鳴っているときに押すと警告音を止めることができます。

8 ファンクションスイッチ
次の操作を行うときに使用します。
・ハードディスク交換時のRAID再構築

9 ハードディスク取替用キーシリンダー
付属の鍵で前面をあけることができます。ハードディスクを交換するとき、および初期化スイッチを押すときに使用します。
※前面のハードディスク取替用キーシリンダー、鍵は誤操作防止用です。盗難防止用には、「盗難防止用セキュリティースロット」をお使いください。

10 初期化スイッチ
TeraStation動作時(電源ランプ点灯)に、ピッと音がするまで(約5秒間)押し続けると、IPアドレスとパスワードが出荷時設定に変更されます。初期化スイッチでパスワードが初期化しないようにも設定することもできます。

11 ステータスランプ1～4
各ハードディスクにアクセス時は1～4の各ランプが緑色に点灯します。ハードディスクに異常が発生したときは、異常が発生した番号のランプが赤色に点灯/点滅します。

12 本製品では使用しません。

13 UPS専用ポート
UPS(無停電電源装置)を接続できます。

14 USBコネクター (USB2.0/1.1 シリーズA)
USB接続UPSをTeraStationに増設できます。
※UPS以外のUSB機器(USBハードディスク、USBプリンター、USBハブなど)の接続には対応しておりません。

15 LANポート1
付属のLANケーブルを接続します。

16 LANポート2
2本のLANケーブルでネットワークに接続して冗長性を保ちたいときやバックアップなどにも使用します。またバックアップ用に別途TeraStationを用意すればTeraStationを接続することもできます。

17 本製品では使用しません。

18 電源コネクター
付属のACケーブルを接続します。

19 ファン
ファンを塞ぐような設置はしないでください。

20 盗難防止用セキュリティースロット
市販のワイヤーロックなどで固定することができます。
※ディスプレイ切替スイッチや液晶ディスプレイの表示については、画面で見るマニュアル「TeraStation 設定ガイド」をご参照ください。

TeraStationの電源をOFFにするときは

・TeraStation前面の電源スイッチを「ピッ」と鳴るまで3秒間押し続けます。
・TeraStationの設定画面で[メンテナンス]-[電源管理]-[シャットダウン]-[シャットダウン]をクリックします。

上記手順を守らずに、電源がONの状態のまま、ACケーブルを取り外すとTeraStationが故障する恐れがあります。

押し続けます
本体前面

ソフトウェアのご紹介

付属のユーティリティーCD(TeraNavigator)では、次のソフトウェアやマニュアルをインストールすることができます。
セットアップ中に表示される選択画面でソフトウェアを選んでインストールします(TeraNavigatorの[オプション]をクリックし、画面の指示にしたがってインストールすることもできます)。

[BUFFALO iSCSIハードディスク接続ツール]

TeraStationを使用するにはiSCSIハードディスク接続ツールが必須です。iSCSI接続ツールでは、TeraStationの接続、設定画面の表示、IPアドレスの変更等を行うことができます。

TeraNavigatorの[かんたんスタート]をクリックしてセットアップすると、必ずインストールされます。

トップ画面

[Adobe Reader]

マニュアルには一部PDFファイルが含まれています。PDFファイルを読むにはパソコンにAdobe Readerがインストールしてある必要があります。Adobe Readerがない環境をお使いの場合にインストールしてください。使いかたについてはAdobe Readerのヘルプを参照してください。

TeraStationのデータはバックアップすることをおすすめします

TeraStationを使用していると、突然の事故、ハードディスクの故障や誤操作で大切なデータを失ってしまう可能性があります。そのようなときに、データを元に戻したり、被害を最小限に抑えるために、データのバックアップをとっておくことが大切です。
バックアップ先には当社製大容量ハードディスク(TeraStation/LinkStation、およびUSB接続外付けハードディスク)をお使いください。

セットアップ手順

TeraStationを使用するには、まず付属のCDに収録されているTeraNavigatorにしたがって、TeraStationの接続・iSCSIハードディスク接続ツールのインストールを行います。

Windows XP/2000、Windows Server 2003/2000 Serverをお使いの場合、あらかじめMicrosoft社ホームページhttp://www.microsoft.com/から「Microsoft iSCSI Software Initiator(英語版)」をダウンロードし、インストールしてください。「Microsoft iSCSI Software Initiator」をインストールしないとTeraStationを使用することはできません。インストール中に表示される「Initiator Service」「 Software Initiator」のチェックボックスはチェックをしてインストールしてください。

❶ TeraStationにLANケーブル、ACケーブルを接続します。

※LANポート1、LANポート2の両方を使用したい場合でも、LANポート1を使って本紙に記載の手順でセットアップしてください。
セットアップ後、LANポート2にLANケーブルを接続してください。LANポート2のIPアドレスはTeraStationの設定画面[基本]-[ネットワーク]-[IPアドレス設定]で設定してください。
※LANケーブルは、カチッと音が出るまで確実に差し込んでください。
※TeraStation(またはGigabit Ethernet対応スイッチングハブ)を接続するLANポートは、主幹ネットワークとは別にGigabit Ethernet対応のLANアダプターを増設することをおすすめします。

❷ 電源スイッチを押し、TeraStationの電源をONにします。

※起動時に背面のファンが稼動するため回転音がしますが異常ではありません。

❸ 付属のCDをパソコンにセットします。

TeraNavigatorが起動します。

[かんたんスタート]をクリックします。

画面の指示にしたがってケーブルの接続確認、ソフトウェアのインストールを行います。

本紙では、パソコンでご利用になる場合を想定した操作方法を説明しています。タブレットをお使いの場合は、「クリック」を「タップ」と読み替えるなどして、本書をご活用ください。

※この画面が表示されないときは、CD内に収録されている アイコン(TSNavi.exe)をダブルクリックしてください。
※Windows 8をお使いの場合、CD挿入時に画面右上に「タップして、このディスクに対して行う操作を選んでください。」と表示されたら、その部分をクリックし、次の画面で「TSNavi.exeの実行」をクリックしてください。Windows 7/Vistaをお使いで、「自動再生」画面が表示された場合は、[TSNavi.exeの実行]をクリックしてください。また、インストール中に「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[はい]または[続行]をクリックしてください。
※パソコンにCD・DVDドライブが搭載されていないときは、当社ホームページ(buffalo.jp)のダウンロードサービスより、本製品のTeraNavigatorをダウンロードし、実行してください。
※ウイルス対策ソフトウェアやOSのファイアウォール機能が有効に設定されている場合、本製品をセットアップする前に必ず無効にしてください。有効に設定されていると、本製品をセットアップできないことがあります。設定方法は、各ソフトウェアのマニュアルを参照してください。セットアップ後に、ファイアウォール機能の設定を元に戻してください。

❹ 「設置とソフトウェアのインストールが完了しました」と表示されたら、[iSCSIハードディスク接続ツールの起動]をクリックします。

iSCSIハードディスク接続ツールが起動します。
※「iSCSIハードディスク接続ツールを選択してください」と表示されたときは、[実行]をクリックしてください。

❺

※常にTeraStationを使用する場合は、[PCを起動したときに自動的に接続する]のチェックボックスをクリックし、チェックマークを表示させた状態で[接続する]をクリックしてください。

❻ 接続したボリュームが未割り当て領域としてパソコンに認識されています。Windowsで領域の確保、フォーマットしてください。

※Windows 8/7/Vista、Windows Server 2008での領域の確保、フォーマットの手順

1. iSCSIハードディスク接続ツールのメニューから[設定]-[ディスクの管理を呼び出す]をクリックします。[ディスクの初期化]画面が表示されたときは、初期設定のまま[OK]をクリックしてください。
2. [未割り当て]を右クリックし、表示されたメニューから[新しいシンプルボリューム]をクリックします。以降は画面の指示に従って、領域の確保、フォーマットを行ってください。

※Windows XP/2000、Windows Server 2003/2000 Serverでの領域の確保、フォーマットの手順

1. iSCSIハードディスク接続ツールのメニューから[設定]-[ディスクの管理を呼び出す]をクリックします。[ディスクの初期化と変換ウィザード(ディスクのアップグレードと署名ウィザード)]が表示されたときは、画面の指示にしたがって手順を完了させてください。
「初期化(署名)するディスクを１つ以上選択してください」と表示される画面では、ディスクのチェックマークを表示した状態で[次へ]をクリックします。
「変換(アップグレード)するディスクを１つ以上選択してください」と表示される画面では、ディスクのチェックマークを外した状態で[次へ]をクリックします。
2. [未割り当て]を右クリックし、表示されたメニューから[新しいパーティション]をクリックします。以降は画面の指示に従って、領域の確保、フォーマットを行ってください。

❼ フォーマットが完了すると、Windowsでは、[コンピュータ(またはマイコンピュータ]の中に、ドライブアイコンが追加されています。

※画面はWindows Vistaの例です。

※出荷時設定では、TeraStationのIPアドレスはDHCPサーバから自動的に取得するよう設定されています。この場合、TeraStationの電源をOFFにしたときなどにIPアドレスが変更されるとTeraStationが使用できなくなります。IPアドレスが変更されることがないよう、初期セットアップ後にiSCSI接続ツールのメニュー[設定]-[IPアドレスを変更する]画面で、[IPアドレスを自動的に取得する]のチェックを外し、IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを個別設定することをおすすめします。

以上でセットアップは完了です。
ドライブとして認識されたTeraStationは、他のハードディスクと同じようにファイルの保存先としてお使いください。

TeraStationを設定(RAIDモードの変更、アクセス制限、ボリュームの作成、パスワードの変更など)したいときは、付属のユーティリティCDに収録されている「TeraStation設定ガイド」をお読みください。

※TeraStationは、最新のファームウェアで使用することをおすすめします。最新のファームウェアは、当社ホームページ(buffalo.jp)からダウンロードすることができます。お使いのTeraStationのファームウェアバージョンは、iSCSIハードディスク接続ツールのメイン画面に表示されています。

RAIDの設定について

出荷時設定では、ハードディスクモードは [RAID5 モード] として設定されています。ハードディスクモードを変更したいときは、セットアップ後、次のように設定を変更してください。

1. [スタート]-[(すべての) プログラム]- [BUFFALO]-[iSCSI ハードディスク接続ツール] をクリックします。
※Windows 8 では、スタート画面の [iSCSI ハードディスク接続ツール] をクリックします。

iSCSI ハードディスク接続ツールを起動します。

2. iSCSI ハードディスク接続ツールのメニューから [設定]-[WEB 設定画面を表示] をクリックします。ユーザ名 admin、パスワード password でログインします。
3. TeraStation の設定画面で、[基本]-[ディスク]-[RAID アレイ] をクリックします。

以降は TeraStation 設定ガイドに記載の手順をご参照ください。

※ディスクの構成について
ディスクの構成には5つの方法があります。画面の指示にしたがって選択をしてください。

RAID5モード(工場出荷時)
TeraStationに内蔵されている4台のハードディスクを1つのアレイとして使用します。ドライブ1台分のパリティデータを保存しているので、ハードディスクが1台故障しても新しいハードディスクに交換してデータを復旧することができます(2台以上故障した場合復旧できません)。

RAID10モード
TeraStationに内蔵されている4台のハードディスクを1つのアレイとして使用します。分散して書き込みを行うのでアクセス速度が少し速くなります。同じデータを2個のハードディスクに同時に書き込んでいるので、ペア(1-2または3-4)を構成する一方のハードディスクが破損してもハードディスクを交換すればデータを復旧できます(1-2、または3-4両方破損した場合はデータを復旧することはできません)。

RAID1モード
TeraStationに内蔵されている4台のハードディスクを2つのアレイとして使用します。RAID1では、2台のハードディスクをペアにして、それぞれのハードディスクに同じデータを書き込みます。ペア(1-2または3-4)を構成する一方のハードディスクが破損してもハードディスクを交換すればデータを復旧できます(1-2、または3-4両方破損した場合はデータを復旧することはできません)。

RAID0モード
TeraStationに内蔵されている4台のハードディスクを1つのアレイとして使用します。使用できる容量は、ハードディスク4 台分の容量となります。分散して書き込みを行うのでアクセス速度が少し速くなります。ハードディスクが破損した場合、データを復旧することはできません。

通常モード
TeraStationに内蔵されている4台のハードディスクを4つドライブとして使用したいときに選択ください。

※RAID構築中はファイル転送速度が数時間(ハードディスク1台あたり1TBの場合の製品で約10時間かかります)低下しています。前面液晶ディスプレイに「RAID ARRAY Resyncing」と表示されているときは電源をOFFにしないでください。

使用モードを設定または変更すると、ハードディスクの内容はすべてフォーマットされます。重要なデータが保存されている場合は、使用モードを変更する前にバックアップしてください。

複数台のパソコンで使用する方へ

TeraStationを複数のボリューム(またはドライブ)に分けてお使いの場合、複数台のパソコンで使用することができます。
※1ボリューム(または１ドライブ)を複数のパソコンで同時に使用することはできません。

1. TeraStationを複数のボリューム(またはドライブ)に分割します。分割するには、次の方法があります。
・RAID1モード、または通常モードに設定する
・複数のボリュームに分割する
※設定手順はTeraStation設定ガイドをお読みください。
※ボリューム(またはドライブ)の構成を変更するとTeraStation内のデータは消去されます。必要なデータがある場合はあらかじめバックアップをしてください。
※ボリュームは最大32個まで作成できます。33台以上のパソコンでは使用できません。

2. 付属のユーティリティCDをパソコンにセットします。
TeraNavigatorが起動します。

3. [かんたんスタート]をクリックします。

4. [パソコンのセットアップ]をクリックします。
以降は画面のメッセージにしたがってiSCSIハードディスク接続ツールをインストールしてください。

5. iSCSIハードディスク接続ツールを起動します。

6.

※常にTeraStationを使用する場合は、[PCを起動したときに自動的に接続する]のチェックボックスをクリックし、チェックマークを表示させた状態で[接続する]をクリックしてください。

7. 接続したボリュームが未割り当て領域としてパソコンに認識されています。以降はWindowsで領域の確保、フォーマットをしてお使いください。

※Windows 8/7/Vista、Windows Server 2008での領域の確保、フォーマットの手順
1.iSCSIハードディスク接続ツールのメニューから[設定]-[ディスクの管理を呼び出す]をクリックします。[ディスクの初期化]画面が表示されたときは、初期設定のまま[OK]をクリックしてください。
2.[未割り当て]を右クリックし、表示されたメニューから[新しいシンプルボリューム]をクリックします。以降は画面の指示に従って、領域の確保、フォーマットを行ってください。

※Windows XP/2000、Windows Server 2003/2000 Serverでの領域の確保、フォーマットの手順
1.iSCSIハードディスク接続ツールのメニューから[設定]-[ディスクの管理を呼び出す]をクリックします。[ディスクの初期化と変換ウィザード(ディスクのアップグレードと署名ウィザード)]が表示されたときは、画面の指示にしたがって手順を完了させてください。
「初期化(署名)するディスクを１つ以上選択してください」と表示される画面では、ディスクのチェックマークを表示した状態で[次へ]をクリックします。
「変換(アップグレード)するディスクを１つ以上選択してください」と表示される画面では、ディスクのチェックマークを外した状態で[次へ]をクリックします。
2.[未割り当て]を右クリックし、表示されたメニューから[新しいパーティション]をクリックします。以降は画面の指示に従って、領域の確保、フォーマットを行ってください。

画面で見るマニュアルの読みかた「TeraStation IS 設定ガイド

付属のCDをパソコンにセットし、自動的に起動した画面(TeraNavigator)で、[マニュアルを読む]をクリックしてください。マニュアル閲覧用ページ(TeraStation IS 設定ガイドなど)が表示されます。

※マニュアルを読むには、インターネットを閲覧できる環境が必要です。

TeraNavigatorトップ画面

TeraStationの設定画面の表示方法

TeraStationの設定画面は、次の手順で表示することができます。

1.iSCSIハードディスク接続ツールを起動します。

2.iSCSIハードディスク接続ツールのメニューから[設定]-[WEB設定画面を表示]をクリックします。

3.ユーザー名、パスワードを入力し、[ログイン]をクリックします。

※ログイン画面では、次のユーザー名、パスワードを入力ください。

ユーザー名：admin
パスワード：password
ログイン後、セキュリティーのためパスワードは変更してください。

※設定画面の対応ブラウザーは、Internet Explorer 6.0 Service Pack 2以上、Firefox 1.5以上、Safari 3以上です。対応ブラウザー以外からのアクセスでは、正しく表示されないことがあります。

以上でTeraStationの設定画面の表示は完了です。

困ったときは

■セットアップできないときは

原因1.LANケーブルが接続されていない
物理的に接続されていない、または正常にTeraStationが認識されていない可能性があります。ACケーブルとLANケーブルを接続し直し、パソコンおよびTeraStationを再起動してください。

原因2.ファイアウォール機能が有効となっている、常駐ソフトウェアがインストールされている
ファイアウォール機能を無効にする、またはファイアウォール機能が有効となっているソフトウェアをアンインストールして再度検索をお試しください。

原因3.無線、有線アダプターがそれぞれ有効になっている
TeraStationに接続するためのLANアダプター以外を無効にしてください。

原因4.LANケーブルの不良、または接続が不安定になっている
接続するハブのポートやLANケーブルを変更してお使いください。

原因5.お使いのLANボード/カード/アダプターが故障している
LANボード/カード/アダプターを変更してお使いください。

原因6.お使いのLANボードやハブの伝送モードが設定されていない
LANボードやハブ側で伝送モードを[10M 半二重]または[100M 半二重]に変更してください。LANボードやハブによっては、伝送モードが[Auto Negotiation]（自動認識）に設定されていると、ネットワークに正しく接続できないことがあります。

原因7.ネットワークブリッジが存在する
使用していないネットワークブリッジが構成されている場合は、削除してください。

原因8.異なるネットワークから検索を行っている
ネットワークセグメントを超えて検索を行うことはできません。検索するパソコンと同一のセグメントにTeraStationを接続してください。

原因9.TCP/IPが正しく動作していない
LANアダプターのドライバーを再インストールしてください。

原因10.セットアップが2回目以降である(すでに一度セットアップを行っている)。
製品の初期化スイッチで初期化を行ってください。初期化につきましては TeraStation IS 設定ガイドをご参照ください。

■TeraStationに突然接続できなくなったときは

お使いのネットワーク環境によっては、IPアドレスが変更されたときなど、突然TeraStationにアクセスできなくなってしまうことがあります。このようなときは、パソコンを再起動し、iSCSIハードディスク接続ツールで接続しなおしてください。また、TeraStationのIPアドレスが変更されないよう、IPアドレスを固定して使用することをおすすめします。

IPアドレスの変更手順は、TeraStation IS 設定ガイドをご参照ください。

Webで解決 バッファローホームページ(buffalo.jp)トップの検索ウィンドウに半角で「**8006**」と入力し、検索ボタンをクリックすると、よくある質問を表示します。困ったときにご参照ください。

8006 検索

NTP機能について
ネットワーク環境によってはNTP機能が使用できない場合があります。初期設定のNTPサーバー(ntp.jst.mfeed.ad.jp)は、インターネットマルチフィード株式会社のものです。詳しくはhttp://www.jst.mfeed.ad.jp/をご参照ください。
本サービスのご利用につきましては利用者ご自身の責任において行って頂くよう、お願いいたします。
本サービスの利用、停止、欠落及びそれらが原因となり発生した損失や損害については一切責任を負いません。

本製品について
この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

万一、障害が発生したときは次の対策を行ってください。
・本製品とテレビやラジオの距離を離してみる。　・本製品とテレビやラジオの向きを変えてみる。

■ 本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があり、現に購入された製品とは一部異なることがあります。
■ 本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどありましたら、お買い求めになった販売店または当社サポートセンターまでご連絡ください。
■ 本製品は一般的なオフィスの OA 機器としてお使いください。万一、一般 OA 機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、当社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
・ 医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。
・ 一般 OA 機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときは、ご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。
■ 本製品は日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外では使用しないでください。また当社は、本製品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っておりません。
■ 本製品（付属品等を含む）を輸出または提供する場合は、外国為替及び外国貿易法および米国輸出管理関連法規等の規制をご確認の上、必要な手続きをおとりください。
■ 本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。
■ 当社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記載されたデータが消失・破損した場合については、保証しておりません。本製品がハードディスク等の記憶装置の場合または記憶装置に接続して使用するものである場合は、本書に記載された注意事項を遵守してください。また、必要なデータはバックアップを作成してください。お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップの作成を怠ったために、データを消失・破棄に伴う損害が発生した場合であっても、当社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
■ 本製品に起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、当社に故意または重大な過失があった場合を除き、本製品の購入代金と同額を上限といたします。
■ 本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を修補し、または瑕疵のない同一製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。

安全にお使いいただくために必ずお守りください

お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しました。
正しく使用するために、必ずお読みになり内容をよく理解された上で、お使いください。なお、本書には当社製品だけでなく、当社製品を組み込んだパソコンシステム運用全般に関する注意事項も記載されています。
パソコンの故障／トラブルや、いかなるデータの消失・破損または、取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障／トラブルは、当社の保証対象には含まれません。あらかじめご了承ください。

使用している表示と絵記号の意味

警告表示の意味

⚠ 警告	絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害の発生が考えられる内容を示しています。

絵記号の意味　△ ⃠ ● の中や近くに具体的な指示事項が描かれています。

△	警告・注意を促す内容を示します。(例：感電注意)
⃠	してはいけない事項（禁止事項）を示します。（例：分解禁止）
●	しなければならない行為を示します。（例：プラグをコンセントから抜く）

⚠ 警告

強制　本製品を取り付け、使用する際は、必ずパソコンメーカーおよび周辺機器メーカーが提示する警告や注意指示に従ってください。

分解禁止　本製品の分解・改造・修理を自分でしないでください。
火災・感電・故障の恐れがあります。また本製品のシールやカバーを取り外した場合、修理をお断りすることがあります。

禁止　AC100 V(50/60 Hz)以外のコンセントには、絶対に電源プラグを差し込まないでください。
海外などで異なる電圧で使用すると、ショートしたり、発煙、火災の恐れがあります。

強制　電源プラグは、コンセントに完全に差し込んでください。
差し込みが不完全なまま使用すると、ショートや発熱の原因となり、火災や感電の恐れがあります。

禁止　電源ケーブル(またはACアダプター)を傷つけたり、加工、加熱、修復しないでください。
火災になったり、感電する恐れがあり、本製品の故障の原因ともなります。
・ 設置時に、電源ケーブル(ACアダプター)を壁やラック（棚）などの間にはさみ込んだりしないでください。
・ 重いものをのせたり、引っ張ったりしないでください。
・ 熱器具を近付けたり、加熱しないでください。
・ 電源ケーブル(ACアダプター)を抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
・ 極端に折り曲げないでください。
・ 電源ケーブル(ACアダプター)を接続したまま、機器を移動しないでください。
万一、電源ケーブル(ACアダプター)が傷んだら、当社サポートセンターまたは、お買い上げの販売店にご相談ください。

強制　電気製品の内部やケーブル、コネクター類に小さなお子様の手が届かないように機器を配置してください。
さわってけがをする危険があります。

強制　小さなお子様が電気製品を使用する場合には、本製品の取り扱い方法を理解した大人の監視、指導のもとで行うようにしてください。

強制　濡れた手で本製品に触れないでください。
電源ケーブルがコンセントに接続されているときは、感電の原因となります。また、コンセントに接続されていなくても、本製品の故障の原因となります。

電源プラグを抜く　煙が出たり変な臭いや音がしたら、すぐにコンセントから電源プラグを抜いてください。
そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。
当社サポートセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

水場での使用禁止　風呂場など、水分や湿気が多い場所では、本製品を使用しないでください。
火災になったり、感電や故障する恐れがあります。

電源プラグを抜く　本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。与えてしまった場合はすぐにコンセントから電源プラグを抜いてください。
そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。当社サポートセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

電源プラグを抜く　本製品に液体をかけたり、異物を内部に入れたりしないでください。液体や異物が内部に入ってしまったら、すぐにコンセントから電源プラグを抜いてください。
そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。当社サポートセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

禁止　電源ケーブル(またはACアダプター)、信号ケーブルは必ず本製品付属のものをお使いください。
本製品付属以外の電源ケーブル(内部接続用を含む)、ACアダプター、信号ケーブルをご使用になると、電圧や端子の極性が異なることがあるため、発煙、発火の恐れがあります。

強制　静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除いてください。
人体などからの静電気は、本製品を破損、またはデータを消失、破損させる恐れがあります。

ハードディスクの破棄・譲渡・交換・修理時の注意
「削除」や「フォーマット」したハードディスク上のデータは、完全には消去されていません。お客様が、廃棄・譲渡・交換・修理等を行う際に、ハードディスク上の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、ハードディスクに記録された全データを、お客様の責任において消去することが非常に重要となります。
ソフトウェアを削除することなくハードディスクやパソコンを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約違反になることがありますので、ご注意ください。万一、 お客様の個人データが漏洩しトラブルが発生したとしましても、当社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
詳しくは、http://buffalo.melcoinc.co.jp/support_s/hddata.html をご覧ください。
TeraStationのデータを完全消去するには、TeraStationのディスク消去機能(※)を使用するか、専門業者に完全消去作業を依頼することをおすすめします。
※TeraStationの設定画面にて[メンテナンス]-[初期化]-[ディスク完全フォーマット]を行うことで、TeraStationの全データ領域に「0」と「1」を交互に上書きする機能です。

GPL/LGPLライセンスについて
本製品は、GPL/LGPLの適用ソフトウェアを使用しており、これらのソフトウェアソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせします。オープンソースとしての性格上著作権による保証はなされておりませんが、本製品については保証書記載の条件により当社による保証がなされています。
GPL/LGPLのライセンスについては、添付CD-ROM内 GNU_LICENSE.PDF をご覧下さい。
変更済みGPL対象モジュール、および再配布については、http://opensource.buffalo.jp/をご覧ください。

⚠ 注意

強制　パソコンおよび周辺機器の取り扱いは、各機器のマニュアルをよく読んで、各メーカーの定める手順に従ってください。

禁止　次の場所には設置しないでください。感電、火災の原因となったり、製品やパソコンに悪影響を及ぼすことがあります。
・ 強い磁界、静電気が発生するところ
・ 温度、湿度がパソコンのマニュアルが定めた使用環境を超える、または結露するところ
・ ほこりの多いところ　→故障の原因となります。
・ 振動が発生するところ　→けが、故障、破損の原因となります。
・ 平らでないところ　→転倒したり、落下して、けがや故障の原因となります。
・ 直射日光が当たるところ　→故障や変形の原因となります。
・ 火気の周辺、または熱気のこもるところ→故障や変形の原因となります。
・ 漏電、漏水の危険があるところ　→故障や感電の原因となります。

強制　本製品の取り付け、取り外しや、ソフトウェアをインストールするときなど、お使いのパソコン環境を少しでも変更するときは、変更前に必ずパソコン内（ハードディスク等）のすべてのデータを他のメディアにバックアップしてください。
誤った使い方をしたり、故障などが発生してデータが消失、破損したときなど、バックアップがあれば被害を最小限に抑えることができます。
バックアップの作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、当社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

強制　ハードディスク内のデータは、必ず他のメディアにバックアップしてください。
とくに、修復、再現できない重要なデータは、オリジナルの更新前、更新後と、常に二重のバックアップを作成されることをおすすめします。次のような場合に、データが消失、破損する恐れがあります。
・誤った使い方をしたとき
・静電気や電気的ノイズの影響を受けたとき
・故障、修理などのとき
・天災による被害を受けたとき
上記の場合に限らずバックアップの作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、当社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

強制　各接続コネクターのチリやほこり等は、取りのぞいてください。また、各接続コネクターには手を触れないでください。
故障の原因となります。

禁止　本製品の上に物を置かないでください。
傷がついたり、故障の原因となります。

禁止　シンナーやベンジン等の有機溶剤で、本製品を拭かないでください。
本製品の汚れは、乾いたきれいな布で拭いてください。汚れがひどい場合は、きれいな布に中性洗剤を含ませ、かたくしぼってから拭き取ってください。

禁止　本製品へのアクセス中は、本製品から電源ケーブル(またはACアダプター)を抜いたり、電源スイッチをOFFにしないでください。
データが消失、破損する恐れがあります。

強制　本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。
条例の内容については、各地方自治体にお問い合わせください。

「設定がうまくいかない」、「故障かな？」と思ったら

サポートセンターのご案内

本製品に関するお問合せはサポートセンターで受け付けています。

● お問合せの際は、まず、当社サポートページをご確認ください。
お客様からお寄せいただいたお問合せを元にした、ピックアップ Q&A やよくある質問をご紹介しております。機種や症状別に参照することも可能です。ぜひご覧ください。

86886.jp（ハローバッファロー）(http://www 不要)　86886.jp 検索

● **インターネット（Eメール）：** ※お問合せフォームからご質問いただけます。

個人のお客様　**86886.jp/mail/** (http://www 不要)
法人のお客様　**86886.jp/hojin/** (http://www 不要)

● **電話：** お問合せの際には、あらかじめ下記の項目をご確認ください。よりスムーズに回答することが可能です。1, ご使用の当社製品名　2, パソコンの型番　3,OS のバージョン　4, トラブルの内容をお知らせください。

受付時間や電話番号などは、変更されることがあります。
詳細は当社ホームページ（86886.jp）をご覧ください。

個人のお客様窓口　**050−3163−1825**
9:30〜19:00 (日曜日、夏期休暇、年末年始、法定点検日を除く)

法人のお客様窓口　**050−3163−2000**
9:30〜12:00　13:00〜17:00 (土日祝日、夏期休暇、年末年始、法定点検日を除く)

修理のご案内

万が一、製品が故障した場合は、下記のサイトより「インターネット修理予約システムで申込む」をご利用いただき、商品を当社修理センターまでご送付ください。事前に修理を予約いただくことで、修理期間の短縮や修理状況の確認を行うことが可能です。

86886.jp/shuri/ (http://www 不要)
携帯電話で修理品の送付先を確認することができます。
右のバーコードを携帯電話で読み取ってください。

ユーザー登録のご案内・添付品の販売（備品販売窓口）

ユーザー登録　**86886.jp/user/** (http://www 不要)
ダウンロードの代行サービス（有料）　**86886.jp/bihin/** (http://www 不要)
AC アダプター、ケーブル、その他付属品
http://www.buffalo-direct.com　バッファローダイレクト 検索

コミュニティサイト

●お客様サポートホームページ上において、パソコンや周辺機器の疑問・質問を書き込み、知っている人が答えて解決するコミュニティサイト『ZQwoonetSAK2（サクサク）』をご用意させていただいております。ぜひご利用ください。

http://www.zqwoo.jp/sak?foo=bar　SAK2 検索

※We provide technical and customer support only to Japanese OS.
We provide technical and customer support only in Japanese language.
We provide technical and customer support only for use in Japan.

当社へご提供の個人情報は次の目的のみに使用し、お客様の同意なく第三者への開示は致しません。
・お問合せに関する連絡・製品向上の為のアンケート（サポートセンター）・添付品の販売業務（備品販売窓口）
・製品返送/詳細症状の確認/見積確認/品質向上の為の返送後の動作状況確認（修理センター）

TeraStation IS 導入マニュアル
2012年10月25日　第4版発行
発行　　株式会社バッファロー